

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所
改良普及課



ブルーベリー摘み取り園の様子



衛生的な選果場の事例



農具は種類別に保管されている



ほ場内急斜地の注意喚起

ちばGAPに取り組み
木更津市観光ブルーベリー園協議会
安全・安心な生産体制の強化による産地力向上

木更津市のブルーベリー生産量は千葉県全体の約3割を占め、県下最大のブルーベリー産地となっています。木更津市観光ブルーベリー園協議会（以下、協議会）は、ブルーベリーの摘み取りによる地域活性化を目的に発足しました。

本協議会は現在11園で構成されています。発足以来ブルーベリーを無農薬・無化学肥料で栽培し、食の安全に配慮した生産を行っています。昨年度には8園が千葉県が推進するちばGAPに取り組み、安全・安心な生産体制をより強化しています。

GAPとは農業生産における食品安全、環境保全、労働安全などを確保するための規範とされており、農薬の管理、農作業事故防止のための具体的な実践項目等が規定されています。

協議会がちばGAPに取り組みきっかけとなったのは、安心・安全な商品を提供したいという強い思いと、他のブルーベリー産地との差別化を図りたいという危機意識からでした。

ちばGAPに取り組んだ8園は、農機具の整理、燃料の保管等が改善され、作業場のどこに何があるかが一目で確認できるようにするなど、作業性の向上に効果が見られています。

（田中）

GAP(農業生産工程管理)で 農業生産現場の 事故を未然に防ぐ

【GAPとは】

GAP(ギャップ)は「Good Agricultural Practice」の頭文字をとった言葉で、直訳すると「良い農業の実践」、一般的には「農業生産工程管理」と呼ばれています。農業生産現場において、食品安全や環境保全、労働安全などを確保し、適切な農業生産を実施するための管理ポイントを整理し、それを実践・記録・点検及び評価を行う持続的な改善活動のことです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京オリパラ)の食料調達基準にGAP認証が要件となったことで、今後国内で取組が拡大することが見込まれます。

【GAPの目的と効果】

農業生産現場には様々なリスクが潜んでいます。残留農薬や異物混入などの食品事故、農作業事故、肥料や農薬による環境汚染などです。

こうした事故や環境汚染を未然に防ぐことがGAPの目的です。また、農場内の整理整頓や記帳を行うことで、

コスト削減やトレーサビリティの確保など、経営改善や取引先との信頼構築にも役立ちます。

GAPは、持続可能な農業経営のために、生産者全員が取り組むべきことといえます。

【「GAPをする」は「GAPの認証」の 違い】

「GAPをする」と「GAP認証を取る」ことは別の話です。「GAPをする」とは適正な農場管理を行うための改善活動です。

「GAP認証を取る」とは各認証基準に沿ってGAPが正しく行われていることを第三者が証明することで、取引先や消費者に対して適正な農場管理が行われていることを客観的に伝える手段となります。

現在日本で認証が受けられる民間のGAP基準は、「JGAP(ジエイギャップ)」、「ASAGAP(アジアギャップ)」、「GLOBALGAP(グローバルギャップ)」の3種類です。これらは審査や登録に費用がかかるため、輸出や取引先の要請など、目的を明確にして取得することが重要です。

【「ちばGAP」制度がスタート】

千葉県では、東京オリパラにおける農産物調達基準への対応や、生産者の

経営改善のツールとしていただくことを目的に、平成30年2月から「ちばGAP」制度をスタートしました。

「ちばGAP」制度では、「野菜」、「果樹」、「米」、そして加熱調理することが前提となる落花生やサツマイモなどが対象となる。その他の作物(食用)の4区分ごとに取組事項を設けています。

【取組事項の例】

- 出荷物が汚染されたり、異物が混入したりしない対策をとっている
- 作業者の健康管理や衛生管理を徹底している
- 廃棄物は適切に保管、廃棄している

生産者は該当する区分の取組事項に全て適合するよう農場改善に取り組んでいただき、県はその取組を支援・確認します。県の確認の結果、全て適合していれば、県のホームページで公表されるほか、「ちばGAP」認証マークを農産物等に表示してPRに利用することができます。申請に費用はかかりません。



ちばGAP認証マーク

【「ちばE」農産物」認証制度にも GAPが導入されます】

「ちばE」農産物」認証制度は、環境保全と食の安心・安全に配慮した千葉県独自の農産物認証制度として平成14年にスタートしました。平成30年4月から、GAPの取組を新たに追加し、環境保全と食の安心・安全の取組をレベルアップした制度に変わりました。

GAPの取組が認証要件となるのは3年後からです。それまでは生産者各自でセルフチェックに取り組んでいただきます。

「ちばGAP」や「ちばE」農産物」認証制度の詳細については、農業事務所にお問い合わせください。また、千葉県ホームページにも掲載しています。(小出)

落花生新品種「Qなつつ」 〔千葉P114号〕が デビューします！

この秋一般販売開始！

平成30年秋から一般販売が始まる「千葉P114号」。煎り莢・煎り豆用の品種ですが、茹でも十分おいしい品種です。品種の特徴について御紹介します。

【はつきりした甘みがある】

「千葉P114号」はシヨ糖含有率が高く、甘みが強いことが特徴です。お子様にも食べやすい品種です。

【莢がきれい】

「千葉P114号」の莢は白く気品があり、外観が良いです。



上:千葉P114号、下:ナカテユタカ

【出芽率が高い】

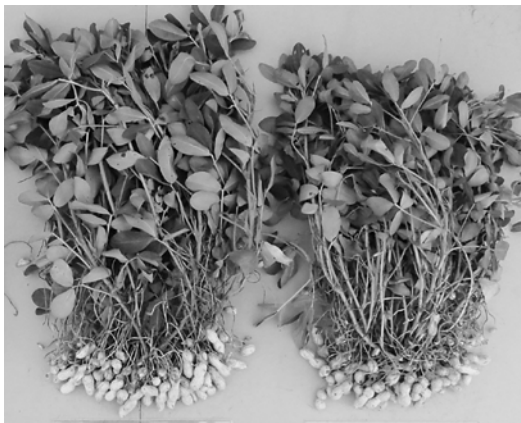
発芽不良や初期生育不良を招く、幼芽褐変症の発生が少ないため、出芽が安定しています。

【草型は立性】

草型は「郷の香」に似ていて、立性です。しかし、分枝がやや長い品種で、最長分枝長は55〜65cmになります。

【収量が多い】

収量は「ナカテユタカ」と同等で多く、安定しています。10a当たり収量は400〜500kg、1株当たりの全莢数は40〜50個が目安です。



左:千葉P114号、右:ナカテユタカ

このような品種の特徴を十分に発揮させるためには、栽培において以下のポイントが重要です。

【密植せず、1穴1粒まき】

立性の品種では、株間を狭めることで多収を実現する例がありますが、「千葉P114号」は分枝長が長く、徒長しやすいので密植には向きません。地力にもよりますが、株間30cm、10a当たり500本が目安です。

また「千葉P114号」は、発芽性が優れた品種です。1粒まきでも欠株の発生は少なく、収量に及ぼす影響は少ないと考えられます。2粒まきで株立て本数を2本にすると、分枝長が長くなり徒長してしまいます。

【5月中旬〜6月中旬に播種】

「千葉P114号」の特徴である甘みと収量の両立のためには、5月中旬から6月中旬の播種が適しています。

【開花期後20日頃にかん水】

収量を確保するためには、開花期後20日頃にかん水しましょう。目安は50mmで、足跡に水が染み出てくる程度にたつぷりと。開花期後40日のかん水は幼芽褐変症の発生を抑える一方で、シヨ糖含有率を低下させてしまいます。

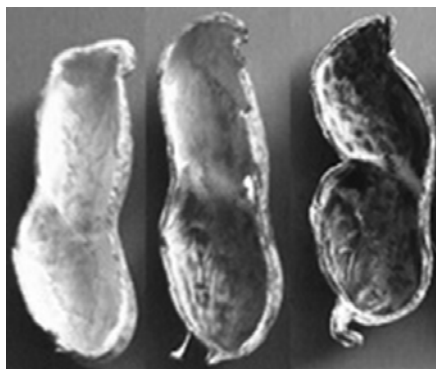
開花期後20日頃は、

- ・ 5月中旬まきでは、7月中旬
- ・ 5月下旬まきでは、7月下旬
- ・ 6月上旬まきでは、7月下旬から8月初め

・ 6月中旬まきでは、8月上旬が目安です。

【開花期後80日頃に収穫】

掘り遅れは、褐変粒などの増加や落ち実の発生につながります。収穫適期は開花期後80日頃です。この1週間前に試し掘りを行い、莢殻の裏を見て熟度を確認しましょう。



未熟 適熟 過熟

袖ヶ浦市農業センター内のほ場では、「千葉P114号」の展示栽培を行っています。「ナカテユタカ」と比較することができますので、ぜひ御覧ください。(清水)

※「千葉P114号」は7月に愛称が「Qなつつ」に決まりました。「従来のピーナッツを超える」という意味を、アルファベット順で「P」の次に来る「Q」の文字に込めています。

農業経営体育成 セミナーについて

農業事務所では、新規に就農した若手農業者を対象に3か年計画で、段階的な研修として農業経営体育成セミナーを実施しています。

研修は、集合研修と在宅研修があり、集合研修は農業技術や農業経営に関する講義や現地研修により、農業生産に係る基礎的な技術の習得を行います。具体的には、農業者・指導農業者をはじめとした先進経営体への視察研修等を行っています。



先進経営体への視察研修

さらに、青年農業者グループとの交流会も行っており、同じ年代の農業青年が抱える課題や考えなどについて意見

交換を行うことで、課題解決のヒントが得られたり、仲間づくりにつながっています。



先輩農業者との交流会

在宅研修は、農業事務所の担当者の個別支援を受けながら、各セミナー生に応じた学習を行います。具体的には、1年目は農業者としての考えや思いを意見としてまとめます。考えをまとめることで、農業者としての自覚を深めることを目的に行います。2年目は、各自の経営における課題を取り上げ、課題解決のためのプロジェクト学習を行います。経営上の課題解決を図るのは経営者の務めなので、その習慣付けを目的に行います。3年目は、各経営体の現状把握をもとに営農計画の作成を行います。経営者は、経営の目標と計画達成の

ための計画を立て、努力して目標の実現を図る役割があるので、個別の計画づくりを通じて研修を行っています。

(三枝)

農地の出し手を募集中

経営規模を拡大したい担い手に貸付ける農地（農業振興地域内）を探しています。農業からのリタイアを考えている方、相続した農地の管理に困っている方など、貸したい

農地がある方は、農地のある市役所農政担当課又は（公社）千葉県園芸協会（農地中間管理機構）に御相談ください。賃料の徴収、支払いは機構が行います。詳細は（公社）千葉

県園芸協会農地部（電話043-223-3011）までお問い合わせください。
(角田)

家族経営協定を 活用して経営改善の 第一歩に！

【家族経営協定って何？】
家族経営協定とは、意欲と

やりがいを持って参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて明文化した家族間の約束事のことです。

県では、第4次千葉県男女共同参画計画の中で、200年に200戸の締結を目標としており、平成29年度末現在の実績は18戸、うち君津管内では102戸となっており、年々増加しています。

【どうやって締結するの？】

家族経営協定を経営改善に活用するには、家族みんなが話し合うことが重要です。

まずは、家族で話し合い、農業経営や生活面での現状を見つめ直し、話し合いの中から、経営方針・目標を決め、その対応策を検討しましょう。

家族間で合意を得たことを盛り込んだ協定書を作成し、調印をしましょう。調印の際には、農業事務所や市職員等が立ち合います。

【制度上のメリットは？】

実質的に共同経営を行っており、一定の要件を盛り込んだ家族経営協定を締結してい

る配偶者や後継者等は、主に次の制度を活用できます。
①認定農業者の共同申請
②農業者年金の国庫助成
③農業次世代人材投資事業（経営開始型）の夫婦での受給 など

なお、制度上のメリットを受ける場合は他にも要件があります。協定書の作成については、君津農業事務所まで御相談ください。
(吉井)

平成31年度 千葉県立農業大学校の入学生募集(一般入試)

県農業の担い手を目指す皆さんのお越しをお待ちしています。

▼試験日(出願期間)

A日程：平成31年1月9日(平成30年12月10日～21日)

B日程：平成31年2月20日(平成31年1月28日～2月8日)

▼問合せ：千葉県立農業大学校

〒283-0001 東金市家之子 1059

☎0475-52-5121 <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>